

西条市小・中学校における E S D の視点に立った取組の推進について

1 小・中学校の現状と方向性

小学校 25 校、中学校 10 校において、家庭科や総合的の学習の時間で SDGs 及び ESD に関連する学習や活動はすでに行われてる。また、学校全体として、学校行事や生徒会活動でも行われている学校もある。しかしながら、市で意識統一して、SDGs 及び ESD の視点から計画、実践、評価をするまでには至っていないのが現状である。

それぞれの学校において、必要な学習内容を「どのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのか」を教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていく、「社会に開かれた教育課程」の実現が重要である。

今後は、全ての小・中学校において ESD の視点に立った取組を推進する必要があると考え、令和 4 年度から、「西条市立小・中学校 E S D 活動計画・活動報告」を作成し、各校の取組を全小・中学校で共有していく。

2 取組内容

西条市教育委員会	各小・中学校
○ESD の視点に立った教育活動についての説明	○研修・協議 ESD 推進のためのカリキュラムや ESD 実践におけるアプローチの促進について
○「西条市立小・中学校 E S D 活動計画・活動報告」説明	○西条市立小・中学校 E S D 活動計画作成
○E S D に関する情報発信 ○E S D に関する研修	○実践
○各校の活動について情報共有	○西条市立小・中学校 E S D 活動活動報告作成
○評価・次年度の方向性	○評価・次年度の方向性